「ハマる、ハチ	·ノへ」観光振興プラン	【新	規事業一覧】	【新規事業数20】
基本方針	方針	フラ ン施 第	展開する施策	アクションプラン(新規事業)
〇地ぐしを拡大する。 本の主義、 大の主義、 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子	<u>(1)食のまち・八戸の推</u> 進	1	食べ歩きできるコンテンツ開発	★①ワールドシーフード・ウォーク(仮称) <i>0</i> 実施
		2	当市の水産・畜産等と観光を融合させた新たな観光の創造	★②はちのへ食文化会議(仮称)の開催
		3	食べに行きたくなるまちの仕掛け	③食のガイドブック製作
		4	地元特産品の販売促進	
	(2)国立公園種差海岸の 魅力向上	5	「種差海岸」の豊かな自然の活用と守るべき価値の保存	④八戸流サステナブルツーリズムの実施
		6	民間投資を呼びこむエリアの設定	★⑤「種差」地区計画策定事業
		7	文人墨客に愛された独自の魅力や歴史を活かしたブランディング	⑥メタ観光の推進
		8	みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルを連動させたPRと トレイルのスタート地点としてのブランド価値の向上	★⑦みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレールを連動させたPR事業・イベント等の実施
		9	ターゲット、情報発信方法の精査	
	(3)インバウンド対応の	10	広域連携によるプロモーション強化	
	<u>充実</u>	11	受入環境の整備	★⑧グーグルマップ対応の充実
		12	訪日客の現状やニーズを詳細に把握する(アンケートの強化 等)	
	(4)高付加価値の創出	13	100 10	
		14	 アウトドアスポーツツーリズム・サステナブルツーリズム・ア ドベンチャーツーリズムの推進	 ④八戸流サステナブルツーリズムの実施【再 掲】
		15	地元ならではの体験プログラムの開発	101
		16	広域連携	
	(5)文化観光・スポーツ ツーリズムの推進	17	中心市街地の公共施設等を活用したまち歩き	 ⑨ハチノヘウォーカブル事業【継続】
		18	スポーツ大会・合宿等の誘致	
		19	地域の文化や伝統の保存と活用、歴史的資源を活用した観光の 推進	⑥メタ観光の推進(再掲)
	(6) 観光インフラ整備	20	旧的地となるような宿泊施設の誘致や大規模なスポーツ大会に 対応するための宿泊施設への支援	⑩宿泊施設等の改修・整備計画策定支援
		21	交通アクセスの向上・八戸駅のゲートウェイ化の促進	
	(7) 地域全体での連携強 化	22	地元観光事業者等と連携した取組	
	(8) 国内外からの誘客の促進	23	観光情報サイト、SNS、イベント、商談会、メディアなどを活用した効果的な魅力発信	
		24	旅行会社・交通事業者(鉄道、航空、高速道路、バス、タク シー等)と連携した取組	
		25	データ基盤の整備と活用の強化	
		26	MICEの誘致促進	
		27	大型客船の誘致	
○基本方針2 持続可能な観光 の確立	持続可能な観光を確立 し、地域経済の発展、環 境保護、地域文化の保全 と継承を進める	28	持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用しながら、効果的で持続可能な観光地マネジメントへの取組を進める	★⑪指標評価ワーキンググループの設立等
○基本方針 3 観光振興による 市民の幸福度の 向上	(1)観光人材の育成	29	観光の目指す姿や観光による地域づくりを理解してもらうため の観光振興プラン概要版の作成	②観光振興プラン概要版作成事業【継続】
		30	市民が観光地を案内できるようにするための八戸観光ガイド ブックの作成	③食のガイドブック製作【再掲】
		31	観光資源を活用して子どもたちが地域を学び、誇りを持てるような教育プログラムの実施	 ③小学生向け観光副読本の作成 ④市内小中学校ガイド派遣補助制度
		32	大学など教育機関との連携強化	⑤大学等との共同研究・教育連携事業 ★⑯観光人材育成プロジェクト ⑪食育プロジェクト(食のまちはちのへと連動)
		33	旅行に来てもらうだけでなく、市民が旅したくなる取組の実施	®小中学校におけるラーケーション(学習 (Learning)と休暇(Vacation))導入事業
	(2)観光による経済活性 化	34	域内調達率の向上	(B)地産地消推進事業
		25	観光客受入環境の整備促進、観光資源の魅了向上、観光教育のための財源の確保に向けて宿泊税の導入を検討	★@宿泊税検討会
		اددا		
	(3)出会いと交流 (関係		住んでよし、訪れてよしのおもてなし向上	

[※]令和7年度から着手したものは【継続】として掲載